

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 243

事務事業名	心身障害者おでかけサポート事業
-------	-----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	障がい福祉課		
課長名	上新 康雄	内線	89-300
担当者名	益田 真功	内線	89-304

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020302	障がい者が暮らしやすいまちづくり
施策		障がい者の社会参加の促進
関連施策		

会計	01 一般会計		
款	03	民生費	
項	01	社会福祉費	
目	01	社会福祉総務費	
事業コード	060401	心身障害者おでかけサポート事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	障がい者基本計画、障がい福祉計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	肢体不自由(下肢障害)1, 2級で常時車椅子の者、視覚障害者1級(非課税世帯)及び療育手帳所持者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	在宅の移動が容易でない障害者に対する外出を支援する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	年1回、福祉タクシー券又は福祉ガソリン券を申請に基づき交付する。 (タクシー券:1枚450円を48枚綴り、ガソリン券:1枚1,000円を5枚綴り)		
事業期間	昭和 54 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市中心身障害者おでかけサポート事業実施要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	タクシー券申請件数(交付枚数)	計画値	12,960	13,200	13,100	13,000	
		実績値	13,200	13,104	12,960		
		達成度	101.9%	99.3%	98.9%		
活動指標 ②	ガソリン券申請件数(交付枚数)	計画値	922	1,100	900	950	
		実績値	1,110	850	955		
		達成度	120.4%	77.3%	106.1%		
成果指標 ①	タクシー券利用率	計画値	50	50	50	50	
		実績値	47	47			
	利用枚数/交付枚数×100	計画値	94.0%	94.0%	0.0%		
		実績値	94.0%	94.0%	0.0%		
	ガソリン券利用率	計画値	98	89	95	95	
		実績値	89	95	95		
②	利用枚数/交付枚数×100	達成度	90.8%	106.7%	100.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	3,646	3,613	3,867	3,997	3,969	3,969	3,969	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他					3,969	3,969	3,969	
一般財源	3,646	3,613	3,867	3,997				
② 人件費(千円)	1,985	1,613	1,267	1,355	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.18	0.14	0.10	0.11	在宅の障害者に対する福祉タクシー、ガソリン券の交付	同左	同左	
時間外勤務(時間)	0	0	3.25	0				
嘱託等人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30				
フルコスト(①+②千円)	5,631	5,226	5,134	5,352				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	身体障害者手帳及び療育手帳交付数は年々増加傾向であり、おでかけサポート事業対象者についても増加傾向である。また、指定事業所も増え、利用者の方々に対しての利便性も高まっている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	

妥当性	<b>【必要性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	自ら運転できない障害者や運転可能な障害者及びその介護者にタクシー券若しくはガソリン券を助成することで、外出に要する経費の軽減を行うことは、障害者の自立や社会参加の促進に必要なことである。						
有効性	<b>【市の関与】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	障害者の外出支援を進めることは、障害者の福祉向上に努める行政の責務である。						
効率性	<b>【事業成果】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	交付枚数の完全利用には至っていないが、障害者が外出する際の経済的負担軽減によって、外出が容易となり社会参加が促進されるなど事業効果は高い。						
効率性	<b>【施策貢献度】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	移動が容易でない障害者の外出支援として有効であり、障害者の社会参加と生活の質の向上が図られる。						
効率性	<b>【コスト】</b>	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	利用による精算払いの支出であり、コスト削減の余地はない。						
効率性	<b>【負担割合】</b>	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	助成額としては必要最小限である。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	移動が容易でない障害者が社会参加するための外出支援策として有効であるため、現状維持とする。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。